

単元 資質・能力	実施時期												質的ルーブリック (判断基準)		
	1 学期				2 学期				3 学期				考え・基礎知識 (Ideas)	つながり (Connections)	応用・ひろがり (Extensions)
	水の東西	羅生門	児の空寝	借虎威	ものの科学へ	待ち伏せ	東下り	漢詩	短歌・俳句	木曾の最期	ありのままの世界は見えない	雑説			
【書くこと】 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書いて、自分の考えをまとめ、深めることができる。	○												自分自身の体験や思索から題材を得て、ふさわしい語句を用いて書くことができる。	体験だけではなく、読書や調査、観察などから題材を得て、取捨選択を行い、文章の形態や文体、言葉遣いに留意して書くことができる。	構成や展開を意識し、場や相手に応じて適切に文章の形態や語句を選択して文章を書くことができる。
論理の構成や展開を工夫して、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめ、深めていくことができる。					○							○	文章の組み立て方、進め方、統括する型を知っている。	思考の進め方を整理し、文章を論理的に組み立てて自分の考えを文章にまとめることができる。	自分の考えの妥当性を裏付ける客観性の高い資料を根拠にして、自らの論を述べることができる。
対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書き、自分の考えをまとめ、深めていくことができる。				○		○	○	○	○				説明と描写の違いを理解することができる。	説明と描写を使い分けて書くことができる。	対象、相手、目的に応じて効果的に説明と描写を使い分けて書くことができる。
【読むこと】 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意しながら文章に描かれた人物、情景、心情などを読み味わい、自分の考えを深め、発展させていくことができる。		○	○			○	○	○	○				表現の特色を知り、人物、場面、出来事がどのように設定され、どのように描かれているかを正確に読み取ることができる。	人物の物の見方、感じ方、考え方、ひいては生き方を的確にとらえ、表現や情景と結びつけて人物相互の関係の変容を読み取ることができる。	人物の心情を自らの生き方と重ね合わせ、共感したり批判的に読む中で、想像力や豊かな心情、感性を培うことができる。
文章の構成や展開を確かめて的確に読み取り、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりして、自分の考えをまとめ、深めることができる。	○				○								文章の構成や展開の仕方をつかむことができる。	段落のはたらきや段落相互の関係を把握することで書き手の意図を的確にとらえることができる。	文章を批判的に読むことができ、自分なりの意見を目的、意図に応じて活用することができる。
【話すこと・聞くこと】 話題について様々な角度から検討して自分の考えを持ち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べ、深めていくことができる。		○											意見の基となる事実や事柄などについての認識や、事実に対する自らの態度の自覚ができ、相手の考えの基となる事実や事柄、考えを形成する過程を的確に理解することができる。	調べた内容を整理し、異なる立場に立って見つめ直したことなどに基づいて、自分の意見との共通点や相違点についてまとめたりして、考えの相対化を図ることができる。	根拠を明確にし、論理の構成や展開を工夫して、自らの考えを相手に的確に理解できるように筋道を立てて表現することができ、合意を形成したり思考の深化を図ることができる。
目的に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりして、考えを深めていくことができる。			○			○							話す目的や場が把握でき、また、情報や事柄を的確に聞くことができる。	目的や場に応じて話すことができ、また、多くの情報、事柄から必要なことを聞き分けることができる。	分かりやすく、目的や場に応じて話すことができ、聞き手の思考や判断をもって聞き入り、味わうことができる。

単元 資質・能力	実施時期												質的ルーブリック (判断基準)			
	1 学期				2 学期				3 学期				考え・基礎知識 (Ideas)	つながり (Connections)	応用・ひろがり (Extensions)	
	水の東西	羅生門	児の空寝	借虎威	ものの科学へ	待ち伏せ	東下り	漢詩	短歌・俳句	木曾の最期	ありのままの世界は見えない	雑説				
[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係に気づき、伝統的な言語文化への興味、関心を広げることができる。	○			○						○			作品一つ一つに表れた個性と価値がわかる。	古文と漢文の両方を学ぶことを通して、両文化の関係に気づくことができる。	作品を集積的にとらえた時代全体の特質、さらに現代につながる我が国の文化全体の独自性がわかり、多様な方面からアプローチして、我が国の伝統的な言語文化の独自性と価値を尊重することができる。	
文語のきまり、訓読のきまりなどを理解することができる。			○	○						○	○	○	文語のきまりや訓読のきまりを理解することができる。	文語のきまりや訓読のきまりを生かして文脈を理解することができる。	文語のきまりや訓読の決まりを学習に役立てることができる。	
国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解することができる。			○							○	○		言葉の成り立ちや表現の特色についての知識が持てる。	身近な言語生活の経験をとおして言葉の成り立ちや表現の特色について理解したり、表現者の意図や心情に結び付けて理解したりすることができる。	言語の個人や社会の中での役割や、文化の享受、発展へのかかわりを考え、実際の言語に運用することができる。	
常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになる。	○	○			○	○						○	常用漢字の音訓が正しく使える。	常用漢字が文脈に応じて書ける。		
主な学習活動	文章作成	討論	発表	文章作成	文章作成	協議	文章作成	文章作成	文章作成	文章作成	文章作成	協議	文章作成			

意欲・態度、価値観・倫理観	考え・基礎知識 (Ideas)	つながり (Connections)	応用・ひろがり (Extensions)
協調性・柔軟性が持てる。	他者の考えが理解できる。	他者と自分との相違点、共通点が見いだせる。	他者との相違点、共通点がわかり、他者と協働して新たな価値を生み出すことができる。
主体性・積極性、責任感を持ち、リーダーシップが取れる。	自ら積極的に考え、行動しようとする意欲が持てる。	他者の中における自己の役割を果たすことができる。	集団の中で積極的に考え、行動し、リーダーシップを取ることができる。
自己理解ができる。	自己のアイデンティティを確立することができる。	他者のアイデンティティと自己とのつながりがわかる。	他者のアイデンティティを押し量り、多様性に対応することができる。
異文化理解ができ、日本人としてのアイデンティティが確立できる。	文化の概念がわかる。	自国の文化を理解し、外国の文化と比較して、相違点や共通点がわかる。	日本人としてのアイデンティティを持ち、グローバル社会を生き抜く高い志と使命感が持てる。